

第2回 千曲市総合計画審議会 会議概要

開催日・出席者等質疑

開催日時 令和3年7月12日（月） 14時00分から17時05分まで
場 所 千曲市役所 301会議室

協議状況（会議事項）

1 開会

2 会長あいさつ

先般の会議においては、私も初めての場でしたが、皆さんにもう少しわかりやすく、そして皆さんが和んだ中でこの会議が開かれる場を作らなくてはいけないとつくづく感じたところです。

本日は、皆さんにどうかその辺についてご協力を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

前回の会議の中では第二次千曲市総合計画前期基本計画、千曲市人口ビジョン、千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略といったもの、そして今回の第三次千曲市総合計画策定方針などについてお伺いしました。この委員会が当市の審議会の中でも最高位に位置する委員会であるという話も伺いましたので、どうか皆さんが審議会の委員としての趣旨をご理解いただきたいと思います。

総合計画策定にあたって、まちづくりのワークショップが先般2回程開催されたと伺っております。皆さんの中から何人か参加していただいたとのことで、ありがとうございました。実のあるワークショップであったと伺っております。おそらく千曲市の将来について皆さんのご意見が参考となることだと思います。どうかこれからも皆さんのご意見等お伺いさせていただきたいと思っております。

本日ににつきましては、各部長にご出席いただいております。大変ご苦勞様です。各部長には、第二次総合計画前期基本計画の検証について、委員の皆さんより事前に頂戴しました質問に対する回答を説明いただく予定であります。限りある時間の中ですので、委員の皆さんには、なるべく端的にご質問等していただくなどご協力をお願いいたします。

3 副市長挨拶

ただいまご紹介いただきました大内と申します。先週7月7日付けで副市長に就任いたしました。非力ではございますが、千曲市のため精一杯頑張ってまいりたいと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻どうかよろしくお願いたします。尚、本日はお忙しい中、第2回の審議会にご出席いただきましてありがとうございます。皆様には、日頃よりそれぞれのお立場で、更には市民の代表としてこの審議会に委員としてご参加いただき、千曲市発展のためにご尽力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。この審議会は、これからの千曲市を方向付ける最上位の総合計画について協議し、市長に答申をいただく重要な会議であるわけです。本日は新しい計

画の土台となる先の計画の検証をしていただきますが、これが大変大事なことだと思いますので、しっかりお願いしたいと思います。また、先程会長からご紹介いただきましたが、本日は市の全部長が出席しておりますので活発なご議論をいただきますようお願いいたします。尚、私共も庁内に策定委員会を組織しているところでありまして、職員も一丸となってそれぞれの分野で計画づくりに取り組んでまいります。年度内完成が1つの目途となっておりますので、短期集中の進め方をしなければならないということで委員の皆様にも大変ご負担をおかけすることがあるかと思っております。ただ千曲市の将来のため、大変重要なことですので何卒お力を賜りますよう改めてお願いを申し上げます。

本日出席の部長自己紹介

4 会議事項

- (1) 第二次千曲市総合計画 前期基本計画の検証について
事務局、担当部長よりそれぞれ説明

【質問・意見・要望等】

委員：

何点か確認があります。資料1-2の管理番号236番（具体的施策：市民一人ひとりが、人の尊厳を大切に、人権と平和を守る地域社会をつくりあげるため、地区人権教育研修会の支援をはじめ、企業・団体などの人権教育研修会の充実、指導者養成講座の充実を進めます。）に関して、再検討していきたいとありますがいつまでに、またこの結果はどうなるのか。同じく253番（具体的施策：新型インフルエンザなどの感染症に対し、その予防と正しい知識の普及を図り、まん延を予防します。）に関して、前向きに検討したいとありますが、その検討結果はどうなるのかということ。同じく267番（具体的施策：高齢者の健康増進や教養の向上、高齢者同士や多世代の交流など、生きがい活動を通じてその能力を生かし、意欲や目標をもって社会参加ができるよう支援します。）に関して、周知してまいりますというのはどのように周知するのか、をお聞きしたい。

健康福祉部長：

1つ目の管理番号236番についてですが、平成30年、令和元年、令和3年の3回、関係団体と一緒に協働事業を実施しました。昨年度はコロナがありましたので中止となっております。これについては、来年度どのような方向性でやっていくのかなど、事業計画を11月位までに立てなくてはなりませんので、この数か月の間に再検討していくということを予定しております。

委員：

でしたらそのように書いたほうが良かったと思います。

健康福祉部長：

回答が分かりづらく、具体的ではなく、簡潔で申し訳ございませんでした。

続いて 253 番については、まず大学との連携については、例えば今年度という回答は出来ない状況です。予防医療への啓発については今後例えば広報など、違った方法でも考えていかなければならないと思います。ただ大学等と連携したセミナーの開催については、現時点においては検討というところで、今年度来年度やるというのは今の時点で明言出来ませんのでこのような回答をさせていただきました。

続いて 267 番の老人大学については、毎年社協だより、また市報そしてホームページ等で大学の開催については周知しております。今後、同様の方法を進めていくとともに、老人クラブ連合会や民生委員さん等の会議や、対象者の方が参画するであろう会議で現状をご報告申し上げて呼びかけていただくように考えてまいります。

委員：

355 番（具体的施策：長野広域連合が計画するごみ焼却施設の建設推進を図ります。）で工事進捗率 68% となっていますが、この数字は計画に対しての進捗なのか実際の実施に対しての進捗なのかどちらですか。

市民環境部長：

工事の実施率といいますか、68%まで出来あがっているということです。

委員：

計画に対してですか？

市民環境部長：

いえ、完成までの間の 68%程出来あがっているということです。申し訳ございませんが、これは長野広域連合でやっている事業であり、令和元年の台風の影響で今現在半年程遅れが生じているとのことです。その関係も含めて完成までの間の 68%進捗率という意味合いで載せております。

委員：

わかりました。数字は見る人によってかなり勘違いする場合がありますので正確な記載が必要だと思います。なぜかという遅れているというのは風の噂で聞いています。それで 68%というのはどういう数値かなと思って確認した意味もあります。

会長：

ありがとうございました。できれば、お一方 2 つ 3 つで止めておいていただければと思います。

委員：

2 時間かけて丁寧にご説明いただきました。わたしは質問を 19 箇所出したのですが、時間がないので 4 点に絞って質問の確認をさせていただきます。

まず施設別検証表の管理番号 13 番（具体的施策：国道を補完する県道網の再編を要望します。）について確認ですが、第 1 段階はこれでよろしいのですが、第 2 段階の整備計画というのは、従

来お聞きしているのは山にトンネルを掘って千曲駅のところへ結びつけると聞いていました。その計画はまだ続いているということでしょうか。または戸倉へ延伸というには林道で森に繋がる道路がありますが、これを県道に上げるという意味合いに含まれているのかいないのかということをお聞きしたいと思います。

続いて 182 番（具体的施策：基本的生活習慣や社会的マナー、自制心、自立心などの育成を図るため、家庭、学校、地域等が連携して、家庭教育に関する学習の機会や情報提供を進めます。）について、教育振興審議会でも話をした記憶がありますが、市の家庭教育支援条例は上位法というのは国にないです。この条例を持っているのは長野県で千曲市だけで他はどこも持っていない。しかも国に上位法はないわけで、これについて確か平成 27 年と記憶していますが、議員立法です。ここに書きましたように 12 条 13 条は極めて危ない表現になっていまして、場合によっては憲法 19 条に違反しかねない表現の仕方になっているわけです。したがってこの事業は条例がなくても出来る事業ではないかと考えております。これは議会に絡むことなので事務的にどうこうということではないですが、ぜひ企画政策部を通じて問題意識はぜひ持っていただきたいと考えております。

次に 237 番（具体的施策：人権教育集会所を活用して地域住民の参加・交流など相互理解を促進し、人権意識の高揚に努めます。）は公共施設の問題ですが、説明書きの中に、はつらつセンターは除くとカッコ書きで書いてありますが、除くということは地元に移譲するとかそういったことは考えていないと理解しているのかという確認です。

最後に 243 番（具体的施策：「地域福祉計画」に基づき、市民一人ひとりが福祉に対する理解を深め、互いに支え合う心の通った地域福祉社会確立に向けた体制づくりを進めます。）の地域福祉計画の問題ですが、今年の 4 月から地域共生社会一括法という法律が施行になっています。お答えいただきました第三次地域福祉計画の推進施策 2-1 というのはこの法律に基づいてつくられていると理解してよろしいでしょうか。

建設部長：

管理番号 13 番の県道森篠ノ井線の延伸についてお答えいたします。第 2 段階整備が続いているのかというご質問ですが、期成同盟会とすればトンネルの要望で現在要望活動を続けています。ただどんな方法がいいのかというのは議論としてはございます。以上です。

教育部長：

家庭教育支援条例につきましては議員提案によって出来た条例ということでして、執行部市長提案ということではございませんので、いただいたご意見という形で研究させていただきます。

健康福祉部長：

237 番について、人権ふれあいセンター、人権はつらつセンターについては市において継続して運営してまいります。それを除くといいものは、過去において同和に関わる集会所が 3 つ程ございますが、それについては今現在地域と協議をしている状況でございます。

続いて 243 番の地域福祉についてでございますが、地域共生社会の実現に向けて法律が変わったところも読み解いているところでございます。地域福祉計画の 2-1 でございますが、それに基

づいてきめ細やか相談体制を構築していくということを前提に考えているものでございますが、現在市においては、介護保険、高齢者であれば地域包括支援センター、障害であれば障害者（児）の基幹相談支援センターが旧戸倉庁舎のふれあい福祉センターにございます。子育てについては子育て世代包括支援センターを庁舎内に窓口をつくりまして設置しております。また生活困窮者への相談につきましては福祉課に、まいさぼ千曲生活就労支援センターがあります。それぞれのセンターでそれぞれの分野において相談の窓口があり、どこにきても相談出来るように専門職を配置して充実させてまいりました。さらには法に基づきましてきめ細やかな相談が出来るよう連携を強化していくとともに、その整備にもこの計画に基づいて進めていきたいと考えているところでございます。

委員：

施策別検証表の管理番号 7 番（具体的施策：上信越自動車道へのスマートインターチェンジの新設促進を図ります。）で、スマート IC を必要であるという柱の説明は理解出来ました。まちづくりワークショップに 2 回参加させていただいたときにいろいろな年齢の方々と話をさせていただきましたが、道の駅の話の時にとてもいろいろな意見を交わしました。千曲市内に道の駅が必要かどうかというところから検討をいただけないかと思ひまして、ここのところで意見を書いたのがいけなかったのかそれについての返事がなかったのか、どこの課にお話すれば良かったのか言えないのですが、必要かどうかからの検討をしていただけないかと思ひます。

総合政策課長：

道の駅につきましては議会等でもご質問いただいております。市の防災拠点ということで今回ハザードマップが 4 月に出たこともございまして、以前から道の駅がいくつか候補があがっております。まだ場所がどこかそういったことは決めておりませんが、千曲市には道の駅も含めた防災拠点が必要であろうということで今年度中にどのような規模のものがいいのか、どういった経営がいいのか、道の駅はかなり赤字になっているところが多いということも聞いておりますので、黒字になっているところを視察したり調査をかけて、どういったものが千曲市にはふさわしいのかという概略のものを今年度やろうということで現在取り組んでいるところでございます。川西地区では道の駅建設推進の期成同盟会も出来ているということもございまして、そちらから市長へ要望もしておりますが、そのようなことで今年度調査を進めているということが現状でございます。

委員：

施策別検証表の管理番号 355 番（具体的施策：長野広域連合が計画するごみ焼却施設の建設推進を図ります。）と 406 番（具体的施策：ホテルの保護活動など、ホテルの住める環境整備を進めます。）、407 番（具体的施策：在来淡水魚の生息環境の整備を図ります。）についてお伺いします。先ほど広域の B 焼却施設の建設が半年遅れというお話を聞きました。4 月からの稼働は難しいということなののでしょうか。それから余熱利用施設がつくられると書いてありますが、この施設の利用は誰でも OK なののでしょうか。

406 番、407 番についてですが、具体的に申し上げますと沢山川でジャコウアゲハを保護してい

る団体があって、私も関係しているのですが今土手を上げています。私たちは地域振興局から補助金をもらってやっている事業なのですが、そこの工事をやるについて何の連絡もなく、もう工事をやっていて、ウマノスズクサがなくなってしまうような状況を今想定しています。この件についてどこに相談にいったらいいか、中心になっている方がとても心配しているのですが、その点よろしくお願ひいたします。

市民環境部長：

355 番の長野広域のB焼却の関係ですが、本来であれば今年の初めからある程度稼働が出来て10月から本格稼働という形でした。それが一昨年度の災害により影響を受けたということで昨年度工期延長をしてございます。焼却の関係につきましては皆さんに影響のないようにこの10月からある程度の形で動かしていけるようにしたいと思っています。ただ若干遅れ気味ですので、例えば長野広域の全体の中で市民の皆さんに影響を及ぼさないような形で考えていると。今のところそんな程度でしか私のほうではお答えが出来ないのが実情でございます。多分もう少し経ちますと長野広域の議会からそのような話がでてくるのではなかろうかと。それから余熱利用につきましては、8月の市報等ではある程度ご紹介していきたいと思ひていますが、要は銭湯みたいな施設と考えていただければと思ひます。市民でなくとも長野市民でも坂城町の方でもご利用出来るようなお風呂ということでございます。その中には体を鍛えるような設備も置くような形になろうかと思ひます。これにつきましては来年度稼働という形で考えております。

406 番について、保護とかの話であればとりあえずは環境課にご相談いただければと思ひますが、先ほどの話だと沢山川の堤防かさ上げの工事の関係ということで困っておられるということかと思ひます。補助金をいただいている地域振興局にも相談していただかなければいけないと思ひますし、工事は千曲建設事務所で行っている事業だと思ひますので、そこにどのような形で相談をかけるかということになるかと思ひます。ただ、今はほとんど工事は終わっている状態ではないかと思ひますが、かさ上げ自体はどこの川でしょうか。

委員：

担当の方が川のことだったらどこに行こうか、土手のことだったらどこに行ったらいいのか、これって相談窓口が一つにならないのかということですか。たらい回しにされている感じです。

市民環境部長：

ただ、補助金を長野地域振興局からいただいているのであれば、一番はやっぱりそこに相談すべきことなのかなとは思ひますが、そこから例えば千曲建設事務所のほうへお話していただくかという話もありますし、市の環境課へ相談いただければ我々が他のところへ相談をかけてみますので、そんな形でお願ひ出来ればと思ひております。

委員：

わかりました。ありがとうございます。

会長：

時間も長丁場になってしまいますので、17時には少なくとも終わりたいと思っております。この辺で一旦は打ち切らせていただきます。尚、且つあるようでしたら事務局のほうへ電話なりメールで送っていただけないでしょうか。その中で質疑応答させてもらえればと思います。

委員：

では要点だけ少し。

会長：

ではそれだけにしてください。すみません。

委員：

すみませんお時間いただきます。おおまかに分けて全体の要点だけ質問とさせていただきます。

1点目、前回最後に申し上げた広報についてです。情報の連携のことです。やはり市民と行政または期成同盟会といったところとの連携、情報の展開というのが、風通しが悪くてわからないというのがありますよね。そこを総合的に解決していただきたいなと思っています。

2点目は市民参加です。教育の部分でもある程度訓練を受けておけば先生方の困っていることも解決出来るでしょうし、またIT人材も行政でも人材不足だと言われていましたが、それも市民とか知識を持っている方々を活用することで人件費とか抑えながらいろんな活用が出来るかなと思っています。例えば土砂災害についても中学校でも地図とかつくっているの、そういったことを活用して市民全体で解決していくという方法をぜひ考えていただきたいと思います。

最後にSDGs。人材についても環境保全についても持続可能なところはどうしても必要で、いろんな団体を見ているんですが、高齢化が進んでいるというところでもうちょっと若手の育成、市の職員についてもそういったことに目を向けて全体的に物事を解決する方法というのをここで改めて各部、市長、教育長含めて取り組んでいただきたい。

市民も出来るだけ全力で、少なくとも審議会委員はそう思っていると思いますのでそこをサポートしながら連携してやっていくというのが今後市の要請かなと思いますので、ぜひその点を踏まえて回答いただきたいと思います。

会長：

これからの審議会の中でそれらについてはやっていければと思います。その他の項でいくつか皆さんにお願いすることがございますので、ここで打ち切らせていただきたいと思います。ご協力いただきましてありがとうございます。各部長さんお忙しい中ご出席ご回答いただきありがとうございます。それではこれで議事を事務局へお預けいたします。

5 その他

(1) まちづくりワークショップの開催結果について

報告

(2) 令和3年度 市民意識調査の結果について

報告

(3) その他

次回8月3日火曜日午後2時より当会場で行いたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。会議事項としましては第三次千曲市総合計画の構成と体系をお示し出来ればと考えております。後日文書にてご通知させていただきますのでよろしくお願いいたします。尚、資料は7月末に策定委員会、庁内の会議を予定しておりますので資料は直前になってしまうかもしれませんがご了承いただきますようお願いいたします。お手元の市報の7月号ですが、審議会の策定状況をお知らせするという事で審議会委員さんのお写真を載せてご紹介させていただいております。また今後も8月号、9月号と市民意識調査の関係や第三次千曲市総合計画を策定していますということを市報、広報等で周知していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。それと、委員より、前回の審議会でご紹介させていただいてご参加いただいた方もいらっしゃるということで、まな viva ちくまさんの開催報告書をお手元に置かせていただきました。内容についてお聞きになりたい方は委員に直接お願いしたいと思います。

6 閉会